

令和 7 年度「熊本大学病院医療助成金」使用実績報告書

(一般財団法人恵和会寄附金)

使用者 (代表者)	氏 名	所 属		職 名
	武笠晃丈	脳神経外科		教授
グループ全員	永原真紀	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
	中村和美	薬剤部		副薬剤部長
	大平久美	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
	江原美香	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
	川田良美	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
	松下留美	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
	和田康幸	熊本県がん連携サポートセンター		事業推進員
活動テーマ	熊本県における、がん診療連携クリティカルパス 「私のカルテ」の普及啓発			
助成金額		500,000 円	助成金使用総額	495,000 円
【使用内訳】		消耗品 旅 費 その他	495,000 円	(内訳) 映像制作費
成 果				
熊本県でのがん診療連携クリティカルパス「私のカルテ」は、2010 年 3 月から運用がはじまり、2026 年 3 月までに、10,687 件の新規導入がある。県下において 15 年間変わらず活動が継続され、がん医療の連携体制の強化、充実が図られている。 当センターでは、「私のカルテ」の導入件数増加を図る中で、より多くの患者に使ってもらうためには、県民、患者および医療スタッフへの周知が不可欠と考えた。 多くの患者が知る機会になるように、また拠点病院へ向けての支援になるように、普及啓発に使用するための「私のカルテ」広報動画を制作した。 動画を制作・配信するメリットは、文章やホームページより動きのある動画の方が、見る側に魅力をダイレクトに伝えやすいことや、短時間で伝えやすいこと、臨場感があり感情を動かすことができること、そしてシェアしやすいことが挙げられる。 今回、15 秒、30 秒の 2 本を制作。患者役、拠点病院医師役、クリニックの医師役、薬剤師役、看護師役が出演している。 ナレーションとともに患者が「私のカルテ」を持って受診する様子、医療者とコミュニケーションをとっている様子を描いている。 「私のカルテ」を使うことで、複数の医師や医療スタッフとつながり、患者さんの支えになっていることを表現した。				

実際の医療者が出演したこともあり、気持ちのこもった動画が出来上がった。

当院はもとより、県下のがん診療連携拠点病院へ配布し、「私のカルテ」普及のために活用していただく予定である。

実際の反響はこれから知ることになるが、この動画を観た人が「私のカルテ」を使いたいと感じてもらえることを期待している。

「私のカルテ」は、がん患者の療養生活に資することに加え、がん診療の役割分担、地域連携の促進も図られる。

多くの患者に利用してもらうために広く知ってもらうよう努めたい。

15 秒 https://youtu.be/JiFtu_aw3Rw

30 秒 <https://youtu.be/xxZuloZCfVo>

○制作会社

Timeship

○出演者

患者役： モデル

拠点病院医師役：熊本中央病院 村上敬一先生

クリニック医師役： くまもとブレストクリニック 指宿睦子先生

薬剤師役：薬剤部 中村和美先生

看護師役：熊本県がん連携サポートセンター 永原真紀

ナレーション： ナレーター

○公開済

令和 7 年度熊本県がん診療連携協議会幹事会

相談支援・情報連携部会 県民公開講座

熊本県がん連携サポートセンター

YouTube チャンネル、Facebook、Instagram

熊本県がん診療連携拠点病院 全 21 施設

大変お忙し中ご出演いただいた村上先生、指宿先生、中村先生と関係スタッフの皆様へ感謝申し上げます。